

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	帰宅願望のある利用者様が離棟しない為に、見守りやセンサー使用など、設備を固める為の話し合いを重ねているが、その利用者様への思いに触れ、どんな対応が適切か考えていく機会がなかった。	身体拘束をしないケアについての知識を高めていきその利用者様の意向や思いに触れ、職員一人一人が同じ意識を持ち実践に繋げていく。	・その利用者様の意向や思いに沿っての対応を身体拘束委員会で話し合う。 ・外部研修や外部講師依頼の機会があれば参加し、外部での具体的な取り組み等を学んでいく ・書類のみの研修だけでなく、DVDやパワーポイントを利用して介護現場の実際を学ぶ	12ヶ月
2	33	重度化した場合や終末期のあり方について、契約時や、早い段階での説明を行っているが、口頭での説明だけではイメージし辛い可能性がある。	重度化した場合、グループホームたんぽぽ那波の家が、どこまでの対応ができるのかなど、本人や家族様にご理解頂いた上で、意向を確認していく。	・具体的な内容を記載した看取り指針を契約書に提示する(ex酸素・胃瘻・気管切開・点滴などの可否) ・その都度、定期的に分かりやすく理解して頂く為のリーフレットを、作成する(内容は介護職員の意見等聴取し検討)	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。